



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES 上場取引所 東  
 コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）水留 浩一  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員（氏名）吉田 剛（TEL）06-6368-1001  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	218,914	3.3	7,933	△35.9	7,204	△29.2	5,902	12.4	5,672	8.1	6,062	△14.4
2022年9月期第3四半期	211,937	18.6	12,372	△32.2	10,173	△41.2	5,252	△50.9	5,247	△51.3	7,079	△38.5
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年9月期第3四半期	49.03		48.66									
2022年9月期第3四半期	45.33		45.06									

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	340,890	68,971	68,716	19.8
2022年9月期	331,982	65,134	65,117	19.3

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	13.8	11,000	8.7	9,500	25.6	6,000	65.7	6,000	66.4	51.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) FOOD & LIFE COMPANIES USA, Corp、除外 1社(社名) —  
 FOOD & LIFE COMPANIES USA, LLC

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期3Q	116,069,184株	2022年9月期	116,069,184株
2023年9月期3Q	383,284株	2022年9月期	394,448株
2023年9月期3Q	115,679,653株	2022年9月期3Q	115,749,718株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	12
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、行動制限が撤廃されたこと等から、人の動きに回復傾向がみられる一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴い資源価格が高騰しているのみならず、円安が進行しており、様々な物価が高騰し、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、同様にロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰や円安の進行、様々な物価の高騰等により引き続き厳しい状況になっております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んでまいりました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第3四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	644(18)	18	3(1)	659(17)
国内：杉玉ブランド(FC)	67(15)	12(1)	3(1)	76(15)
国内：京樽ブランド	155(－)	3	16	142(－)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	103(－)	－	6	97(－)
国内：その他ブランド	24(－)	1	2	23(－)
国内合計	993(33)	34(1)	30(2)	997(32)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	87(2)	33	2(2)	118(－)
海外：その他ブランド	3(－)	1	－	4(－)
海外合計	90(2)	34	2(2)	122(－)
国内外合計	1,083(35)	68(1)	32(4)	1,119(32)

( ) 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益218,914百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益7,933百万円（前年同期比35.9%減）、税引前四半期利益7,204百万円（前年同期比29.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益5,672百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

国内スシロー事業につきましては、円安や水産資源の減少等による食材の調達コスト、物流費、地代、人件費、設備・建設資材の高騰など、飲食業を含めて事業会社を取り巻く環境の変化はこれまでに無いほど急激で大きなものがあり、2022年10月1日より、国内におけるスシロー全店において、価格の改定を行っております。

そのような中、2023年1月には、スシロー店舗における迷惑動画がSNSにおいて掲載され、拡散されました。このような行為は、お客さまへ安全・安心な「おすし」を提供する上で、お客さまとの信頼関係を損なう重大な事案であると重く受け止めております。お客さまの信頼回復に向けて、対象店舗において、すべての湯呑の洗浄、しょうゆボトルの入れ替えを実施し、今後の防止策としては、テーブルに備え付けの食器や調味料にご不安をお感じになられた場合の消毒済のものへの交換、全国の郊外型店舗に対してアクリル板の設置の実施などを行っております。

業績回復に向けた取り組みとして、「スシロー史上最多！サーモン祭」では、定番商品と期間限定商品をあわせて30種類以上のサーモン商品を提供し、「スシロー名物!!!三貫盛祭」では、本鮪の大とろ、中とろ、赤身を一皿で楽しめる本鮪3貫盛りや高級食材のあわびを生、蒸、煮の3種類で食べ比べができるあわび3貫盛りなどを販売し、「年に1度の別格まぐろ祭」では、天然インド鮪大とろや、天然インド鮪中落ち包みなどをお客さまにお楽しみいただきました。

また、2023年5月31日より、「お客さまの声をカタチに」をテーマに、最もお手頃な価格帯の黄皿商品を増やし、これまで360円・370円・390円で提供していた黒皿をお求めやすい新価格260円・270円・290円に変更し、価格を固定しない白皿を導入しております。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は149,718百万円（前年同期比10.8%減）、セグメント利益は2,730百万円（前年同期比76.4%減）となりました。

#### （海外スシロー事業）

海外スシロー事業につきましては、新型コロナによる営業規制が緩和され、店内飲食は徐々に回復に向っております。

そのような中、積極的な事業展開に向けて、中国大陸においては成都の1号店を含め、当期に合計20店舗を出店しました。その他の地域では、台湾5店舗、香港4店舗、タイ5店舗と、新規出店を継続し、海外スシロー事業において100店舗オープンを達成しております。

また、来店客数の維持・拡大に向けて、食べ比べフェア（中国大陸）、新鮮食材フェア（韓国）、5周年創業祭（台湾）、大大大祭り（香港）、九州フェア（シンガポール）、2周年創業祭（タイ）など、魅力的な販促・マーケティング政策を各地域で継続的に実施いたしました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は46,955百万円（前年同期比84.9%増）、セグメント利益は4,126百万円（前年同期比441.0%増）となりました。

#### （京樽事業）

京樽事業につきましては、テイクアウト事業では、5月には母の日限定商品「八坂」が好評を得、6月には「週替わりの得する祭」をスタートしました。京樽店舗におきましては、陳列の演出や包材を改良するなど、現場改善にも取り組みました。また、外商事業では、スーパーなどにおいて冷凍鮪販売が拡大しております。

みさきブランドでは、リニューアル店舗である「すしみさき」の売上が好調で、引き続き店舗リニューアルを計画しております。また、セルフレジなどのオペレーションを効率化する設備を導入し、人員不足の解消や適切なコストコントロールに努めております。

以上の結果、京樽事業の売上収益は18,423百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント損失は566百万円（前年同期セグメント損失1,489百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び資本の状況

#### （資産）

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,907百万円増加し、340,890百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ851百万円減少し、67,141百万円となりました。これは主に、借入金の返済や設備投資等により現金及び現金同等物が4,907百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9,759百万円増加し、273,748百万円となりました。これは主に、新店出店等により有形固定資産が8,923百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,071百万円増加し、271,918百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ23,295百万円増加し、77,362百万円となりました。これは主に、社債の一部における非流動負債からの振り替えに伴い、社債及び借入金が19,990百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ18,225百万円減少し、194,556百万円となりました。これは主に、社債の一部における流動負債への振り替え及び借入金の返済等により、社債及び借入金が22,973百万円減少したこと等によるものであります。

## (資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べ3,837百万円増加し、68,971百万円となりました。これは主に、配当金の支払により2,603百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により5,672百万円増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,907百万円減少し、45,730百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、27,569百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

これは主に、法人所得税の支払額が3,010百万円、営業債権及びその他の債権の増加が1,520百万円あった一方で、税引前四半期利益7,204百万円、減価償却費及び償却費19,553百万円、減損損失2,562百万円の計上、法人所得税の還付額2,468百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13,980百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が11,511百万円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、18,329百万円（前年同期15,623百万円の獲得）となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が12,748百万円、長期借入金の返済による支出が3,007百万円、配当金の支払額が2,598百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	50,637	45,730
営業債権及びその他の債権	11,397	12,522
棚卸資産	3,534	4,227
その他の金融資産	457	2,104
その他の流動資産	1,967	2,558
流動資産合計	67,993	67,141
非流動資産		
有形固定資産	162,490	171,414
のれん	30,371	30,371
無形資産	55,968	56,301
持分法で会計処理されている投資	178	52
敷金及び保証金	13,420	14,065
その他の金融資産	541	541
繰延税金資産	191	192
その他の非流動資産	830	813
非流動資産合計	263,990	273,748
資産合計	331,982	340,890
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	27,435	28,516
社債及び借入金	4,009	23,999
未払法人所得税	189	530
リース負債	15,650	17,233
その他の金融負債	963	1,269
引当金	2,347	2,184
その他の流動負債	3,473	3,631
流動負債合計	54,067	77,362
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	23	23
社債及び借入金	88,923	65,950
リース負債	105,624	110,104
その他の金融負債	100	103
引当金	4,012	4,253
繰延税金負債	14,092	14,121
その他の非流動負債	5	—
非流動負債合計	212,781	194,556
負債合計	266,848	271,918
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,692	15,676
利益剰余金	47,579	50,649
自己株式	△1,894	△1,841
その他の資本の構成要素	3,639	4,131
親会社の所有者に帰属する持分合計	65,117	68,716
非支配持分	18	256
資本合計	65,134	68,971
負債及び資本合計	331,982	340,890

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	211,937	218,914
売上原価	△98,372	△98,041
売上総利益	113,566	120,873
販売費及び一般管理費	△101,673	△111,278
その他の収益	4,142	1,085
その他の費用	△3,663	△2,746
営業利益	12,372	7,933
金融収益	513	279
金融費用	△702	△1,060
持分法による投資損益 (△は損失)	△2,011	52
税引前四半期利益	10,173	7,204
法人所得税費用	△4,922	△1,302
四半期利益	5,252	5,902
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,247	5,672
非支配持分	4	230
四半期利益	5,252	5,902
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	45.33	49.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	45.06	48.66

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	5,252	5,902
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,828	160
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	1,828	160
税引後その他の包括利益	1,828	160
四半期包括利益	7,079	6,062
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,075	5,824
非支配持分	4	238
四半期包括利益	7,079	6,062

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	100	15,755	46,584	△0	1,130	63,569	4	63,573
四半期利益			5,247			5,247	4	5,252
その他の包括利益					1,828	1,828	0	1,828
四半期包括利益合計	—	—	5,247	—	1,828	7,075	4	7,079
自己株式の処分		△42		106	△13	50		50
自己株式の取得		△20		△2,000		△2,020		△2,020
株式に基づく報酬取引					319	319		319
配当金			△2,612			△2,612		△2,612
所有者との取引額合計	—	△62	△2,612	△1,894	305	△4,263	—	△4,263
2022年6月30日時点の残高	100	15,692	49,220	△1,894	3,263	66,381	9	66,390

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高	100	15,692	47,579	△1,894	3,639	65,117	18	65,134
四半期利益			5,672			5,672	230	5,902
その他の包括利益					152	152	8	160
四半期包括利益合計	—	—	5,672	—	152	5,824	238	6,062
自己株式の処分		△27		54	△8	19		19
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		11			△11	—		—
株式に基づく報酬取引					359	359		359
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△16	△2,603	54	340	△2,225	—	△2,225
2023年6月30日時点の残高	100	15,676	50,649	△1,841	4,131	68,716	256	68,971

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	10,173	7,204
減価償却費及び償却費	16,802	19,553
減損損失	3,289	2,562
金融収益	△229	△279
金融費用	702	1,060
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,873	△262
敷金及び保証金の家賃相殺額	196	194
持分法による投資損益 (△は益)	2,011	△52
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	5,990	△1,520
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△605	△661
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,246	1,174
その他	△2,122	91
小計	35,582	29,064
利息及び配当金の受取額	13	57
利息の支払額	△590	△1,010
法人所得税の支払額	△11,222	△3,010
法人所得税の還付額	—	2,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,783	27,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,473	△11,511
有形固定資産の売却による収入	0	650
無形資産の取得による支出	△1,664	△839
定期預金の預入による支出	—	△1,394
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△1,034	△1,160
その他	△57	274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,227	△13,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	34,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,007	△3,007
リース負債の返済による支出	△10,681	△12,748
支払手数料の支払による支出	△3	△4
自己株式の取得による支出	△2,000	△0
新株予約権の行使による収入	33	19
配当金の支払額	△2,609	△2,598
その他	△110	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,623	△18,329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,178	△4,740
現金及び現金同等物の期首残高	29,367	50,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	889	△167
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,435	45,730

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド（主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」）

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

## ②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシ ロー事業	海外スシ ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	167,754	25,398	15,844	2,941	211,937	—	211,937
セグメント間収益	68	—	222	—	290	△290	—
計	167,822	25,398	16,067	2,941	212,227	△290	211,937
セグメント利益又は 損失（△は損失） (注) 1	11,559	763	△1,489	△406	10,428	1,945	12,372
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	11,870	3,097	1,240	304	16,510	292	16,802
減損損失	1,705	542	878	164	3,289	—	3,289

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,945百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシ ロー事業	海外スシ ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	149,718	46,955	18,308	3,933	218,914	—	218,914
セグメント間収益	—	—	116	12	128	△128	—
計	149,718	46,955	18,423	3,945	219,042	△128	218,914
セグメント利益又は 損失（△は損失） (注) 1	2,730	4,126	△566	△249	6,041	1,892	7,933
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	12,072	5,316	1,231	476	19,095	457	19,553
減損損失	2,095	103	165	199	2,562	—	2,562

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,892百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

## (販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
従業員給付費用	57,400	61,212
減価償却費及び償却費	16,728	19,505
水道光熱費	4,881	6,278
支払手数料	3,669	4,530
その他	18,995	19,752
合計	101,673	111,278

## (1株当たり利益)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	5,247	5,672
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	5,247	5,672
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	5,247	5,672
基本的期中平均普通株式数(株)	115,749,718	115,679,653
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	705,284	872,939
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,455,002	116,552,592
基本的1株当たり四半期利益(円)	45.33	49.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	45.06	48.66
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (普通株式95千株)	新株予約権3種類 (普通株式200千株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。